

◆これからはじめる人、運用や活用法に悩んでいる方、必聴！！

◎初の大坂開催です◎

# 成功するための樹脂流動解析セミナー

実務で活用してきた解析者のテクニックをマスターし樹脂製品のものづくりに広めよう！

- 樹脂流動解析を正しく理解し、間違いのない活用法を伝授
- 他と差がつく解析の活用法とは？
- “実務で使える”樹脂流動解析のポイントを分かり易く紹介

\*より良いプラスチック製品を作るために樹脂流動解析は製品設計や開発、金型設計・製作に必要なツールです。しかし、「難しそうだ」、「よく分からない」との先入観で活用を敬遠されている方や、「使ってみたもののどのように製造工程に組み込めばよいのか分からない」というように、なかなか現場に浸透しにくいのも事実です。

本講座では樹脂流動解析を現場で有効に活用するためのキーポイント、留意点を、失敗・成功事例を交えて分かりやすく解説します。

- ・開催日時 平成 29 年 11 月 2 日（木）10 時 30 分～16 時 30 分
- ・会場 大阪産業創造館（5 階研修室 D）大阪市中央区本町 1-4-5
- ・参加費 正会員（個人・法人）29,600 円 一般（会員外）34,600 円（いずれもテキスト、資料及び昼食代を含む）

## ■講師および講義内容

担当講師	講義内容
<p>平成 29 年 11 月 2 日（木） 10 時 30 分～16 時 00 分</p> <p>株式会社アイシム 代表取締役 天野 克久氏</p> <p>●講師プロフィール 大手金型メーカーで 17 年間、樹脂流動解析に従事。その間、自動車、家電、日用品など広範囲の大小金型、約 1,000 型の解析を手掛ける。2012 年に（株）アイシムを設立、金型・成形・部品製造など様々な企業のプラスチック製品や金型設計・製作を樹脂流動解析でサポート、現場における樹脂流動解析の普及活動に尽力している。</p>	<p><b>I. “樹脂流動解析” を正しく理解する</b> 「樹脂流動解析が使えない」と思っている方の多くに「樹脂流動解析を行えばすべてのトラブルや不具合を直すことができる」と誤解されている点があります。しかし、残念ながら樹脂流動解析は、すべてのトラブルや不具合を直してくれるためのツールではありません。 ——樹脂流動解析の正しい理解について解説します。</p> <p><b>II. 導入・運用におけるポイント</b> 樹脂流動解析導入後どのように製造現場で活用していけばよいのか。また、すでに導入したものの、いまひとつ活かしきれずに悩んでいるという方も少なくありません。 ——歴史のある金型メーカーで孤軍奮闘し、導入から運用、そして、自社内は勿論のこと、顧客にまで樹脂流動解析を浸透させ、製造・開発のひとつの工程にまでに成し遂げた方法について、人・もの・時間の観点から解説します。</p> <p><b>III. 実務で使う樹脂流動解析</b> ——樹脂流動解析を活用したトラブルの解決方法について 1. 基本的な操作で解決する方法 2. 解析結果を駆使することで解決する方法 3. 解析結果に直接答えがないトラブルを解決する方法 の 3 つに分けて事例を交えて解説し、自社内のみならず、顧客にとっても魅力的かつ頼りにされる流動解析の手順について解説します。</p> <p><b>IV. 樹脂流動解析の限界</b> 樹脂流動解析は非常に便利なツールではありますが、残念ながらトラブルを解決できない場合もあります。 ——樹脂流動解析の限界とその対処法について紹介します。</p> <p><b>V. 実務で樹脂流動解析を活用するために</b> ——樹脂流動解析を活用し、現場や顧客にとって“頼もしい樹脂流動解析”になるための考え方やコツについて解説します。 1. コストダウンへの手引き * サイクルダウンと成形機のランクダウン 2. 流動解析の結果からでは直接見ることができない現象の評価と対処法 目立つウェルドと目立たないウェルドの見分け方 * ボイドの見方と解消法</p>